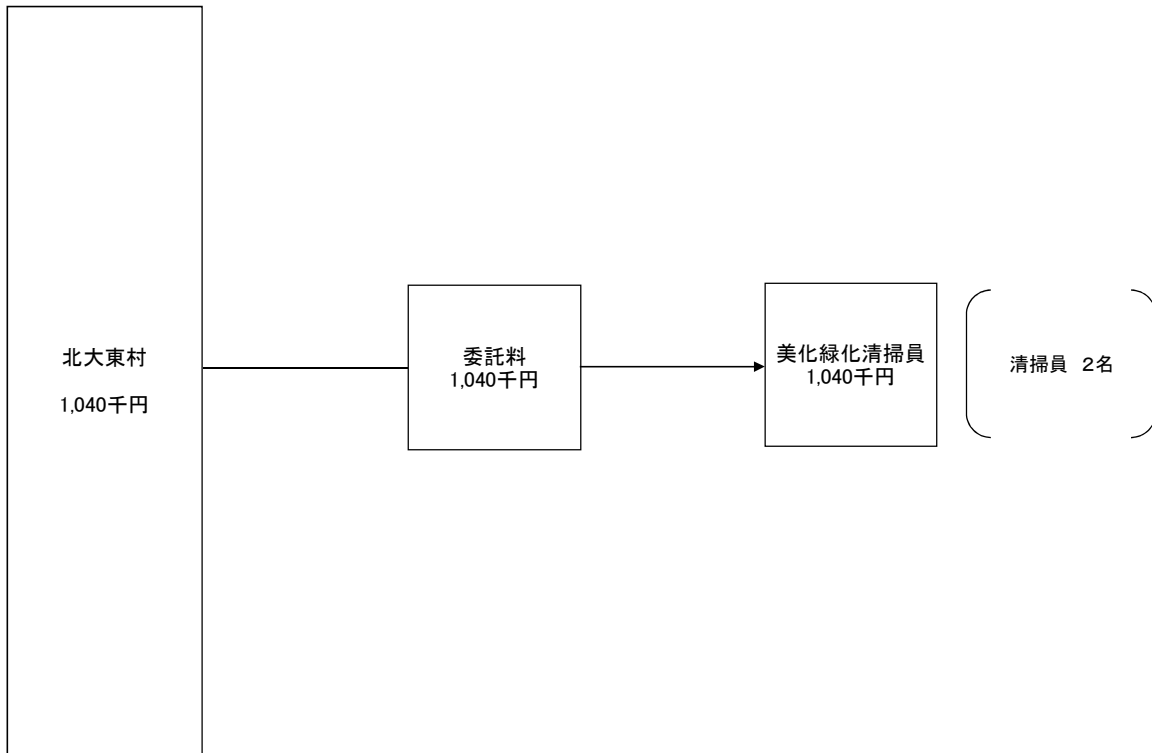


市町村名	北大東村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② 観光アクセス道路美化緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化の実施を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		3,500	3,000	3,000	2,500	2,500
			2,500	3,000	3,207	1,551	2,500
			▲ 1,000	0	207	▲ 949	0
			-	-	-	-	-
	B. 執行済額		1,753	2,568	3,098	1,551	1,040
	うち交付金充当額		1,402	2,054	2,478	1,240	832
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		70.1%	85.6%	96.6%	100.0%	41.6%
	予算の状況の説明		不用額の1,459千円については清掃員の減少によるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	アクセス道路及び周辺道路の美化実施:2,500m(10箇所)	目標	( 2,500m 10箇所 )	( 2,500m 10箇所 )	( 2,500m 10箇所 )	( 2,500m 10箇所 )	
		実績	2,500m 10箇所	2,500m 10箇所	2,500m 10箇所	2,500m 10箇所	
	作業員配置4名	目標	( 4名 )	( 4名 )	( 4名 )	( 4名 )	
実績		5名	5名	3名	2名		
達成状況説明	継続して契約していた清掃員の体調不良により目標より2名少ない清掃員の雇用となったが、村職員で不足分のアクセス道路及び周辺道路の美化を実施することで、観光客等の受入体制が整備できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
		実績		93%	83%	88%	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
進捗状況説明	観光客等の受入体制の整備・誘客促進・観光振興に関するアンケート検証を行った結果、88%の方から魅力的な景観形成が図られたとの回答が得られた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・高齢化による清掃員不足を解消するため、柔軟な契約形態を取り入れる事で清掃員の確保に努めたが、島内のマンパワーが不足しており清掃員の確保が十分にできないことが課題となった。</p>	<p>・限られた人員で効率的な修景及び美化を行うため、除草剤の散布等を行い雑草等の繁殖抑制等も取入れていく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>引き続き人員確保に努めるとともに、清掃後の除草剤散布による繁殖抑制も行いながら、観光アクセスに重要な道路や周回道路の改修及び美化を図る。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付金充当額	
1,040	1,040	832	208	0



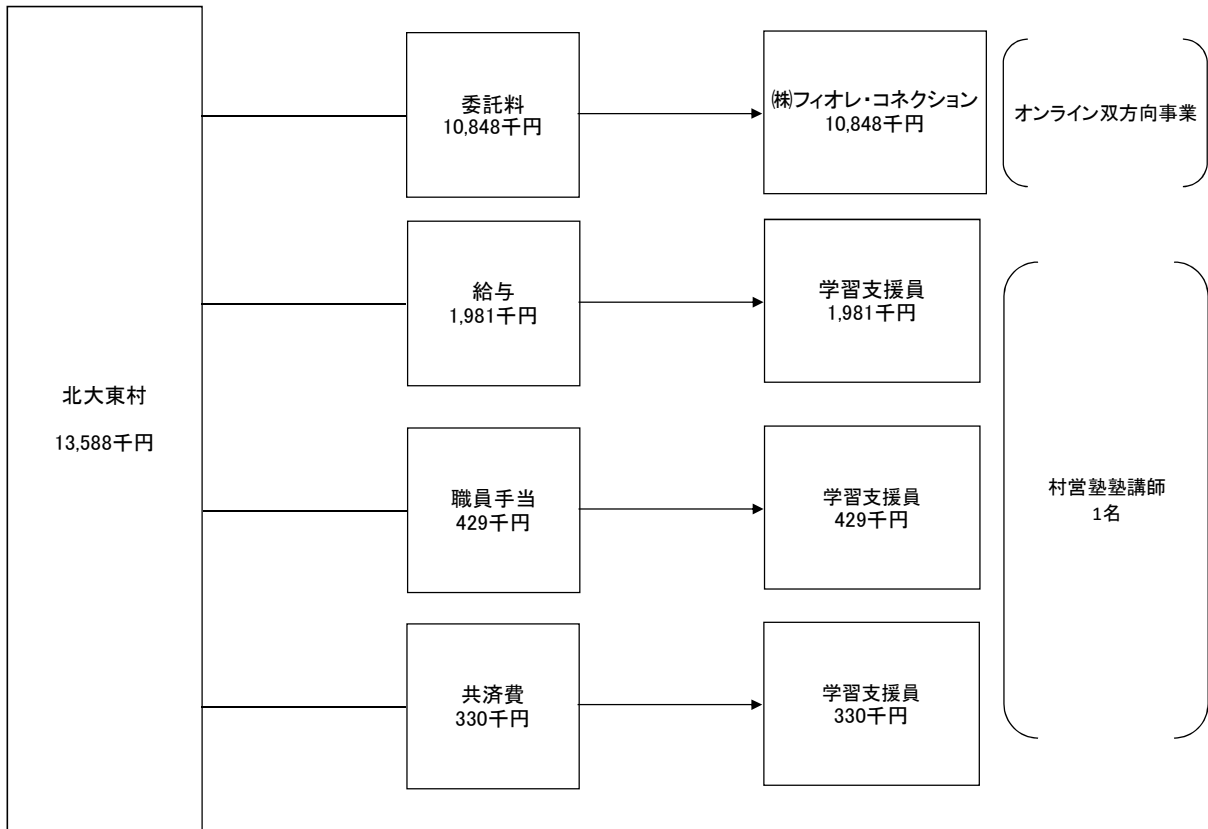
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託職員については、村内求人・給料表と併せて適正に選定しており、妥当であった。</p> <p>○予算規模については、予定していた定員の半数となったことから6割ほどの執行残が発生した。</p> <p>○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	オンライン双方向授業支援モデル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導及び、ICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施し、児童生徒の学力向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(b) 予算現額	12,000	14,500	14,500	14,500	14,500
	(c) 増減額(b-a)	0	▲1,000	▲1,000	▲1,118	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	12,000	13,500	13,500	13,382	14,500	
	B. 執行済額	10,108	12,331	12,641	13,382	13,588	
	うち交付金充当額	8,087	9,865	10,112	10,705	10,870	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	84.2%	91.3%	93.6%	100.0%	93.7%	
	予算の状況の説明	不用額の912千円は学習支援員の体調不良等によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	学習支援員の配置:1名	目標	( 1名 )	( 1名 )	( 1名 )	( 1名 )	
		実績	1名	1名	1名	1名	
東大生によるオンライン双方向授業:10名	目標	( 10名 )	( 10名 )	( 10名 )	( 10名 )		
	実績	14名	16名	20名	10名		
達成状況説明	きめ細やかな授業を実施する為に必要な学習支援員を目標どおり配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	令和3年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差		目標	(    ) ( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	(    )
	①小学校 県平均以上 ・5年生:算数、国語 ・6年生:算数、国語		実績	平均以下 県 58.0% 村 44.2%	実施無し	平均以下 県 55.2% 村 45.5%	
	令和3年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差		目標	(    ) ( :均以上 )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	(    )
①中学校 県平均以上 ・1年生:数学、国語、英語 ・2年生:数学、国語、英語		実績	平均以上 県 54.3% 村 60.2%	実施無し	平均以上 県 47.8% 村 52.9%		
進捗状況説明	オンライン双方向授業の実施により、現役東大生の指導を通して教育環境格差の解消が図られ、児童・生徒の学習に対する習慣や姿勢が身に付いてきているが、沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差は小学校の県平均には届かなかった。また、沖縄県学力到達度調査における中学校の県平均を上回っており、尚且つ高校受験において全員合格の実績を得られた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・現役東大生の指導についてこれない児童生徒が毎年度各学年に一定数発生している。</p>	<p>・現役東大生の指導についてこれない児童生徒に対する個別での追加支援が必要となっており、村営塾の学習支援員を活用した個別指導による学習能力に応じた個別対応を実施している。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・引き続きオンライン双方向授業の講師や村営塾の学習支援員と連携を図りながら、個々の学習能力に配慮したきめ細やかな対応を行うことにより、村内児童生徒全体の学力向上に対する支援を行っていく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,588	13,588	10,870	2,718	0

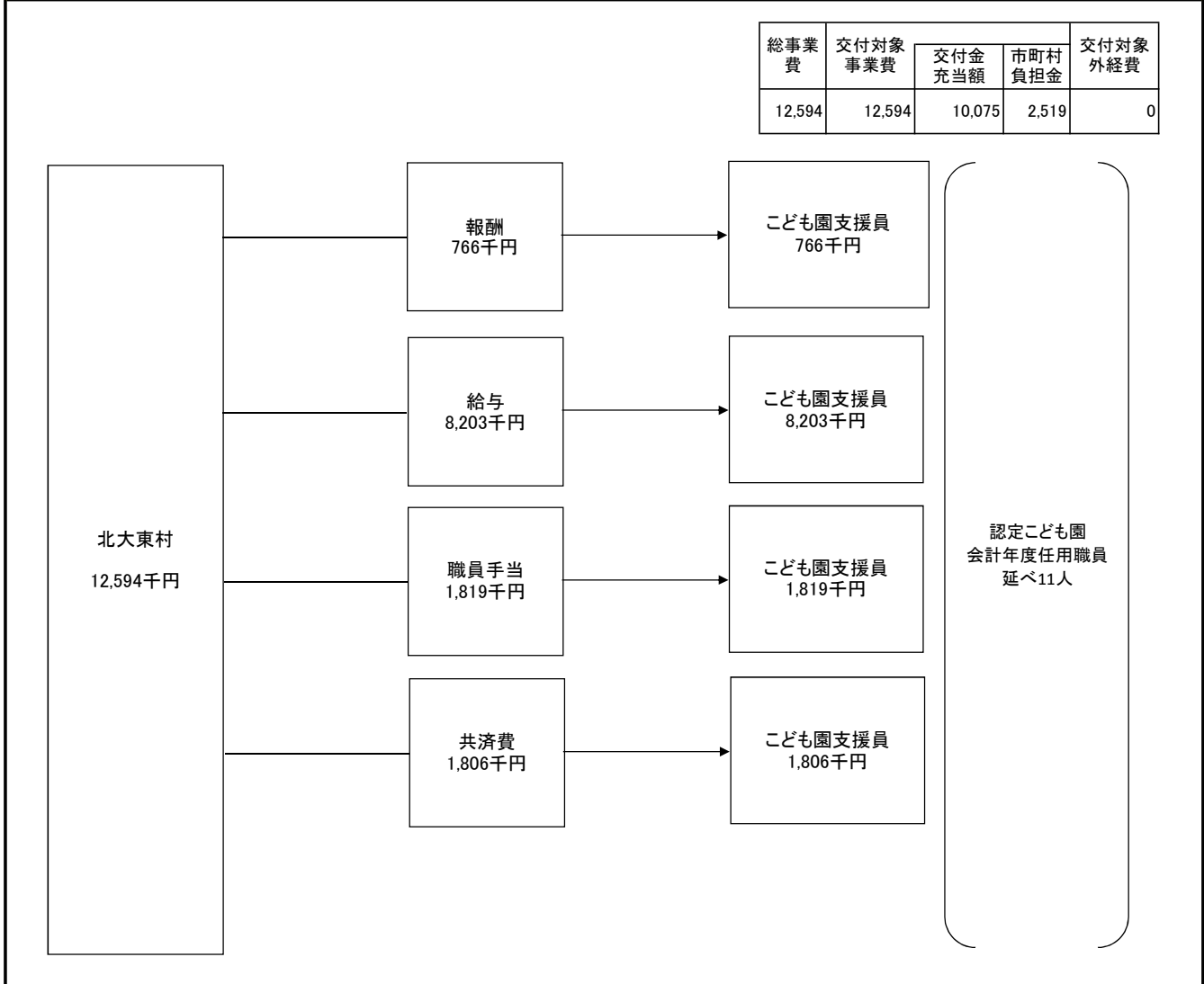


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先については、オンライン授業を実施しているのは1社のみとなっており、随意契約による契約は妥当と考える。 ○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	安心・安全に子育てできる環境を整備するため支援員を配置し、認定こども園を実施することで、保護者の育児への負担感を軽減する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		7,000	9,500	9,500	9,500	14,000	
		7,125	7,500	6,000	3,993	14,000	
		125	▲ 2,000	▲ 3,500	▲ 5,507	0	
		-	-	-	-	-	
		7,125	7,500	6,000	3,993	14,000	
		6,967	7,138	5,428	3,993	12,594	
		5,574	5,710	4,342	3,194	10,075	
		0	0	0	0	0	
		97.8%	95.2%	90.5%	100.0%	90.0%	
予算の状況の説明	不用額の1,406千円については、一年間継続した人材の確保をすることができなかったことによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	認定こども園支援員配置:6名	目標	( 4名 )	( 5名 )	( 5名 )	( 6名 )	
		実績	延べ9名	延べ6名	3名	延べ11名	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
実績							
達成状況説明	こども園開園に伴い支援員配置6名を予定していたが、一年間継続した人員を確保することができず、延べ11名の配置となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
		実績		91%	81%	100%	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
実績							
進捗状況説明	アンケートによる検証の結果本事業を活用した保育事業の実施により、安心・安全に子供を預けることができた事で、保護者の育児負担感が軽減されたとの意見を全ての保護者から頂いた。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・より良い育児環境を形成するために、預けられる対象年齢を0歳からとしているが、対象幼児の受け入れを継続する為には、支援員の配置人数の確保が課題となっている。	・預れる対象年齢を0歳からとしたことにより、潜在的な待機児童が0になったため、引き続き対象幼児の受け入れを継続する必要がある。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きこども園への支援員配置を継続し、保護者の育児負担軽減に対する取組を継続していく。</li> <li>・アンケート検証による保護者からの様々な意見等を取り入れ、より良い子育て環境の整備を継続していく。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



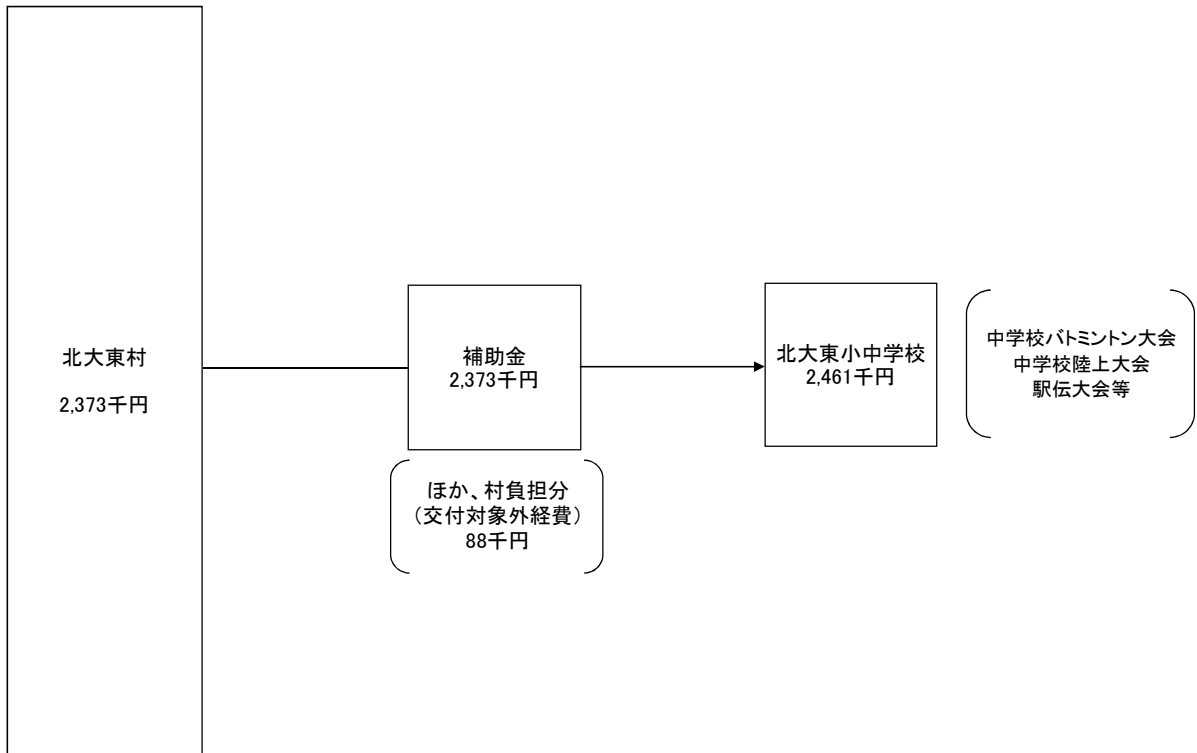
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員については、村内求人・給料表に併せて適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
<b>令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-② 離島の児童生徒の交流促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9		
事業内容	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学习における派遣渡航費の補助支援を行い、競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施    □委託      ■補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,000	3,000	3,000	4,000	4,000
		(b)予算現額	1,875	3,000	3,715	2,103	4,000
		(c)増減額(b-a)	▲125	0	715	▲1,897	0
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		1,875	3,000	3,715	2,103	4,000
	B. 執行済額		1,775	2,633	3,598	2,103	2,373
	うち交付金充当額		1,420	2,106	2,878	1,682	1,899
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.7%	87.8%	96.9%	100.0%	59.3%
予算の状況の説明		不用額の1,626千円については、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により大会等が中止や縮小になったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	渡航助成の実施	目標	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
	実績						
達成状況説明	スポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会、駅伝大会)による県内への移動費助成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	目標	(                    )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(                    )
		実績		100%	77%	93%	
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績					
進捗状況説明	昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により各種文化系の交流が中止となったが、昨年度からのコロナ禍であり保護者のコロナに対する向き合い方に変化があったため結果が向上したと考えられる。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・昨年度同様、新型コロナウイルスの影響により各種文化系の交流が中止となったが、童話お話し意見発表会等学校内でコロナ対策を行いながら披露できる環境を提供できた。	・次年度においても今年度と同様な状況になる事が予想されるため、引き続きコロナ対策を行いながら練習の成果を披露できる環境を提供する必要がある。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
・新型コロナによる社会環境の変化が大きい事から、今後の体制について引き続き学校や教育委員会、PTA等と話し合いを持ち様々な可能性を模索しながら児童生徒のスポーツ大会や文化交流の機会を確保していく。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
2,461	2,373	1,899	474	88



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金支出先について、生徒指導を実施しているのは1団体のみとなっており、選定は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、コロナ禍で中止等があったことから4割ほどの執行残が発生した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

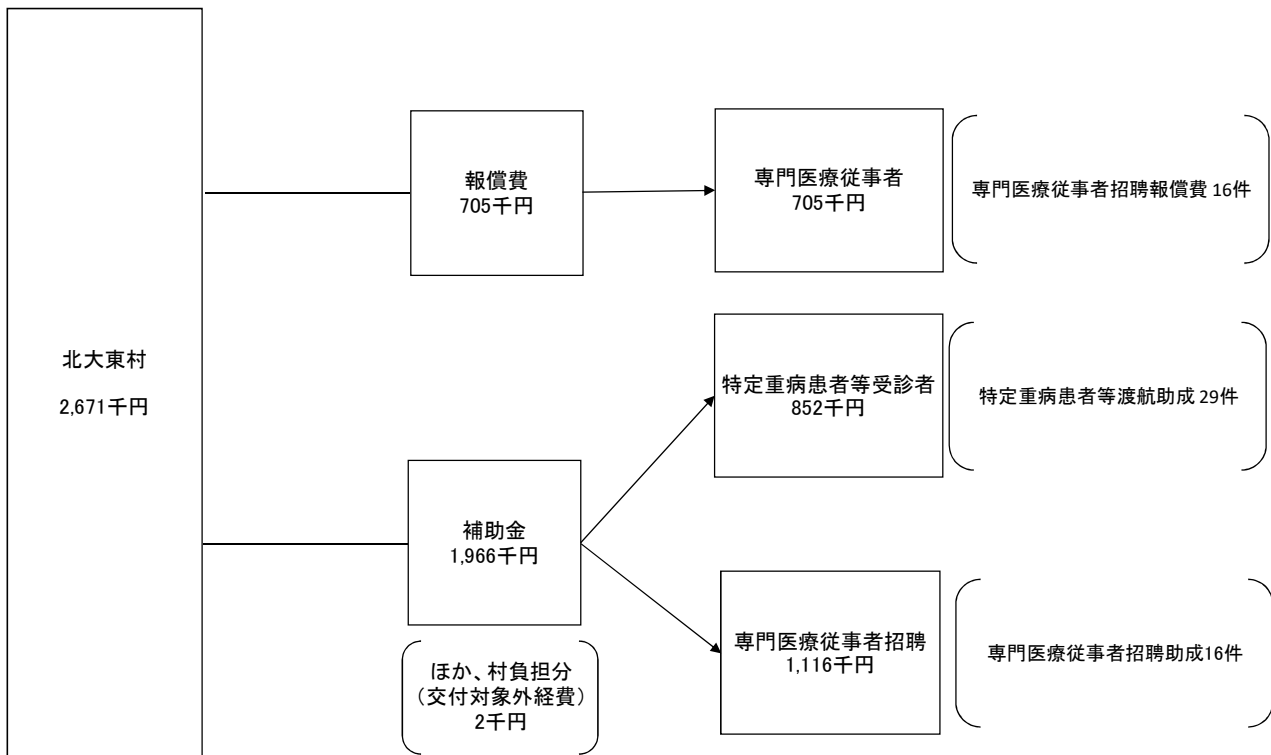


市町村名		北大東村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 離島特別医療質確保推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部署名	福祉衛生課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	離島の不利益を克服し、特定重病患者等の健康を守るため、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部助成や、島内に専門医療従事者を招聘し健康増進を図る。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施      □委託      ■補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	(b)予算現額	3,500	3,500	2,288	909	3,500	
	(c)増減額(b-a)	0	0	▲1,212	▲2,591	0	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	3,500	3,500	2,288	909	3,500	
	B.執行済額	2,615	2,976	1,821	909	2,671	
	うち交付金充当額	2,092	2,381	1,456	726	2,137	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	74.7%	85.0%	79.6%	100.0%	76.3%	
予算の状況の説明		不用額の828千円については、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により予定していた招聘の取消等が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	特定重病患者の検診助成の実施		目標 ( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	
			実績 実施	実施	実施	実施	
専門医療従事者の招聘		目標 (      )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )		
		実績	実施	実施	実施		
達成状況説明	事業制度の周知を図り、島内で受診対応出来ない、特定重病患者等の検診(29人/54回)に係る医療サービスを受ける際の沖縄本島への渡航移動費助成を行った。 また、専門医療従事者を招聘(1人/16回)して相談・検診(90人/251回)を行うことにより、村民の心身の健康に関する不安を解消した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	渡航費支援が必要な人への支援率:100%		目標 (      )	( 100% )	( 100% )	( 100% )	(      )
			実績	100%	100%	100%	
	心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 (      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
		実績	100%	100%	100%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援が必要な方へ制度説明を行い、申請のあった方全てに対して支援を実施することができた。 ※支援率=(渡航支援した人)/(島外での診療が必要と診断された人)</li> <li>専門医療従事者による受診を要望する人へのアンケートを実施し、100%心身の健康に関する不安が解消されたと回答があった。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	コロナ禍であることから臨床心理士の相談件数が増加した。	引き続きコロナ禍であっても実施できるような環境や体制を整える必要がある。
今後の取り組み方針		
引き続き島民の要望等に沿えるような形で今後も心身の健康に関する不安を解消していく。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,673	2,671	2,137	534	2



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受診証明書・搭乗確認書等にて選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 北大東村景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備(伐採・植栽)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		37,600	—	10,000	10,000	10,000
			39,692	—	10,000	10,670	12,486
			2,092	—	0	670	2,486
			—	5,000	—	—	—
	B. 執行済額		34,692	4,730	9,845	10,670	12,452
	うち交付金充当額 次年度繰越額		27,753	3,784	7,876	8,536	9,961
	執行率(%) (B/A)		87.4%	94.6%	98.5%	100.0%	99.7%
	予算の状況の説明		植栽箇所を増加するために、2,486千円増額した。				
	活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
村一周海岸道路の植樹環境整備:350m		目標 ( 1,000m ) 実績 1,000m	( 300m ) 300m	( 300m ) 300m	( 350m ) 350m		
過年度実施箇所の給水		目標 (    ) 実績	( 実施 ) 実施	( 実施 ) 実施	( 実施 ) 未実施		
達成状況説明	マリンレジャー施設や観光ガイド施設等の観光基盤整備と合わせて、景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを地域性にあった植樹・環境に整備することにより観光誘客を図る。今年度は江崎港周辺の景観形成の環境整備を行った。 全長9,000m 進捗率44.4%						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	村一周海岸道路の植樹環境整備 植樹工事等の完了:350m		目標 (    ) 実績	( 300m ) 300m	( 300m ) 300m	( 350m ) 350m	(    ) 350m
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 (    ) 実績	( 80%以上 ) 93%	( 80%以上 ) 83%	( 80%以上 ) 88%	(    ) 88%
	進捗状況説明	・景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いの西港周辺(350m)整備を行った。これまでの整備実績は4,000mとなっており全体(9,000m)の44.4%の整備が完了している。 ・観光客等へのアンケートを実施し、88%の方から魅力的な景観形成が図られたと回答があった。					

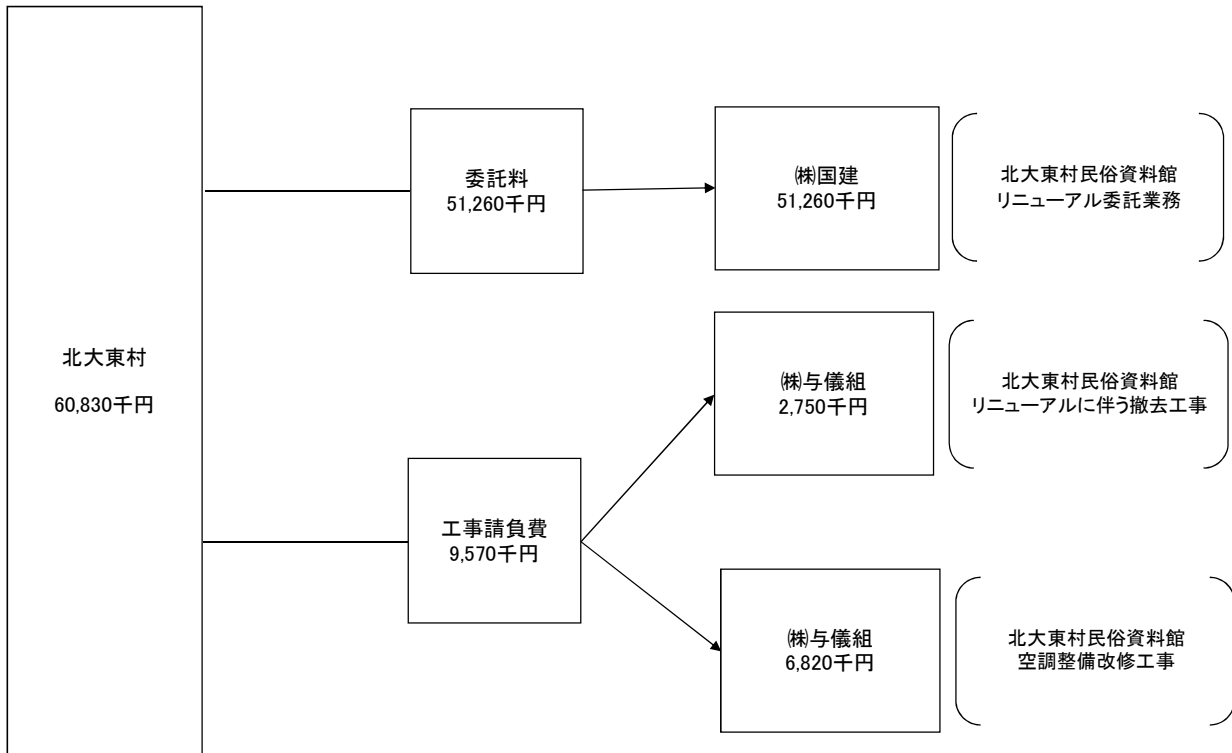


市町村名	北大東村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-① 北大東島歴史的情報発信環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	国の史跡指定や県内で初めての国の重要文化的景観として選定された本村は、国内でも稀な歴史文化が育まれており、その情報発信を行う環境を整備することで、来訪者の島の理解度を向上させる。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	年度	年度	年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	64,400			
		(b)予算現額	60,830			
		(c)増減額(b-a)	▲3,570			
		(d)繰越額	-			
		A.計(b+d)	60,830			
		B.執行済額	60,830			
		うち交付金充当額	48,664			
		次年度繰越額	0			
		執行率(%) (B/A)	100.0%			
予算の状況の説明	入札残である3,570千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
			R3年度	年度	年度	年度
	歴史的情報発信環境整備	目標	(完了)	( )	( )	( )
		実績	完了			
		目標	( )	( )	( )	( )
		実績				
達成状況説明	令和3年度に整備を完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	年度	年度
	歴史的情報発信環境整備	目標	( )	(完了)	( )	( )
		実績		完了		
	来訪者が島の歴史文化や生業を知ることが出来たか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	目標	( )	( )	( )	( )
		実績				(80%以上)
	進捗状況説明	歴史的情報発信環境の整備が整うことにより、来訪者が島の歴史文化や生業を知ることが出来たかを図るため設定した。				

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	本事業で整備した「うふあがり・人と自然のミュージアム」を開園することができた。	北大東島の歴史文化や生業を知ることができる施設であるため島を訪れた人に島の魅力を知ってもらうためにもより多くの集客する必要がある。
今後の取り組み方針		
北大東島の歴史文化や生業を知ることができる施設としてのPRを行い、来訪者に対する島の理解度を高める施設として活用していく。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
60,830	60,830	48,664	12,166	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	